

スポーツ推進だより

第133号

令和8年7月31日発行

発行者：水戸市スポーツ推進委員連絡協議会

編集：広報部会

事務局：水戸市市民協働部スポーツ課

電話：029（306）8136

「スポーツ推進委員として思うこと」



水戸市スポーツ推進委員

委員長 後藤 清二

去る4月25日（日）、京成ホテルにおいて、令和8年度の水戸市スポーツ推進委員の委嘱状交付式が行われ、高橋市長から委嘱状が交付されました。

退任された方、長年のご活躍に感謝申し上げます。新任の方には仲間とともにスポーツ事業の一層のご活躍を期待いたします。

委嘱状交付式後には、水戸市スポーツ推進委員連絡協議会の総会が行われ、令和8年度の事業計画、予算が審議され、提案どおり承認されました。役員改選については、委員長、副委員長、共に再任されました。各部会の部長・副部長については、企画部会副部長の退任に伴い新たに大図委員を副部長に選任し、その他の部会は継続で任に当たっていただくことになりました。

さて、スポーツ推進委員（102名）は、各地区（34地区）の会長より推薦（3名）され、水戸市長から委嘱された非常勤公務員で、スポーツ実技指導、各種スポーツの企画運営の任に当たっていただくりーダー的存在でもあります。そのため、総会で承認された事業には、地域の代表であることの自覚をもち、積極的な参加を期待します。委員によっては、任期の2年間で一度も参加されない委員、2年間で3人とも参加されない地区もありました。皆で決めた事業でもありますので、今期はこのようなことが無いようお願いいたします。皆で決めたことは皆で、自覚と責任をもち、各事業において積極的に参加し、委員同士のコミュニケーションも図りスポーツ事業に貢献して参りたいものです。

スポーツ事業にも変化があります。特に中学校の部活は学校主体から地域移行へと本格的な改革移行時期に入り、休日の活動を中心に地域移行・連携強化が進められています。このような時期に我々が担うスポーツ推進委員の活躍の場が来るかもしれません。スポーツ推進委員で水戸市民の健康増進に向けて頑張っていきましょう。



高橋市長から、退任された佐藤修様・木村嘉彦様へ表彰状が授与されました。

（左から）高橋市長、佐藤修様、木村嘉彦様

スポーツ推進委員名簿

- ① 氏名
- ② 地区名
- ③ 役職・所属部会
- ④ スポーツ推進委員歴

中央ブロック



① 金子 欣 訓
② 三の丸
③ 調査
④ 5年目



① 宇留鷺 友 保
② 三の丸
③ 企画
④ 15年目



① 江 川 恵 造
② 三の丸
③ 庶務
④ 11年目



① 大 串 貴 弘
② 五軒
③ 企画
④ 1年目



① 平 松 良 崇
② 五軒
③ 庶務
④ 12年目



① 白 土 文 海
② 五軒
③ 広報
④ 11年目



① 山 部 正 彦
② 新莊
③ 調査副部長
④ 13年目



① 神 尾 智 祐
② 新莊
③ 企画
④ 5年目



① 袴 塚 孝 治
② 新莊
③ 庶務
④ 3年目



① 砂 川 勝 利
② 常磐(ブロック長)
③ 副委員長
④ 35年目



① 内 田 敏 雄
② 常磐
③ 庶務
④ 17年目



① 打 越 高 一
② 常磐
③ 広報
④ 7年目



① 寺 門 正 秋
② 堀原
③ 企画(監事)
④ 21年目



① 八 木 由 紀 子
② 堀原
③ 企画
④ 11年目



① 長 谷 川 雄 也
② 堀原
③ 広報
④ 5年目



① 坂 井 講 壽
② 城東
③ 調査部長
④ 29年目



① 伊 藤 尚 久
② 城東
③ 庶務
④ 3年目



① 福 田 清 江
② 城東
③ 広報
④ 7年目

東部ブロック



① 樋 口 裕 昭
② 浜田(ブロック長)
③ 企画
④ 3年目



① 井 坂 磨 奈 美
② 浜田
③ 庶務
④ 5年目



① 佐 藤 幸
② 浜田
③ 広報
④ 3年目



① 遠 西 守
② 上大野
③ 企画
④ 5年目



① 坂 場 善 彦
② 上大野
③ 広報
④ 3年目



① 西 野 庄 二
② 上大野
③ 庶務
④ 9年目



① 小 坏 洋 藏
② 吉田
③ 調査
④ 17年目



① 鈴 木 賢 二
② 吉田
③ 庶務
④ 7年目



① 小松崎 康 良
② 吉田
③ 広報
④ 6年目



① 井 坂 良
② 酒門
③ 企画
④ 7年目



① 伊 藤 雄 一
② 酒門
③ 調査
④ 7年目



① 大 川 兼 男
② 酒門
③ 庶務
④ 11年目



① 吉 沢 隆
② 吉沢
③ 広報副部長
④ 17年目



① 西 村 三絵子
② 吉沢
③ 庶務
④ 17年目



① 鬼 澤 正 明
② 吉沢
③ 調査副部長
④ 15年目

西部ブロック



① 坏 正 文
② 石川
③ 副委員長
④ 39年目



① 金 澤 啓 二
② 石川
③ 庶務
④ 3年目



① 郡 司 彩 子
② 石川
③ 広報
④ 10年目



① 石 野 奈緒美
② 河和田
③ 調査
④ 1年目



① 笹 沼 重 晴
② 河和田
③ 企画
④ 3年目



① 市 毛 悟
② 河和田
③ 広報
④ 18年目



① 大 戸 康 夫
② 上中妻
③ 企画
④ 3年目



① 金 井 由美子
② 上中妻
③ 広報
④ 2年目



① 滝 田 英 子
② 上中妻
③ 調査
④ 2年目



① 川原井 隆
② 山根(ブロック長)
③ 企画
④ 25年目



① 今 川 明 美
② 山根
③ 企画(監事)
④ 23年目



① 蔀 義 男
② 山根
③ 庶務
④ 21年目



① 岡 野 優 二
② 双葉台
③ 企画副部長
④ 23年目



① 稲 垣 優 子
② 双葉台
③ 調査
④ 7年目



① 村 澤 小夜子
② 双葉台
③ 庶務
④ 1年目



① 照 沼 和 之
② 赤塚
③ 広報
④ 6年目



① 小野瀬 茂 美
② 赤塚
③ 庶務
④ 8年目



① 青 木 友 子
② 赤塚
③ 企画
④ 2年目

南部ブロック



① 菊 池 克 彦
② 緑岡(ブロック長)
③ 調査
④ 17年目



① 竹 田 悦 子
② 緑岡
③ 企画
④ 9年目



① 中 崎 裕 之
② 緑岡
③ 広報
④ 4年目



① 富 永 理 佳
② 寿
③ 調査
④ 1年目



① 山 田 浩 行
② 寿
③ 企画
④ 13年目



① 栗 原 美津男
② 寿
③ 広報
④ 9年目



① 後 藤 清 二
② 見川
③ 委員長
④ 27年目



① 吉 村 三 男
② 見川
③ 企画
④ 15年目



① 柏 喜 道
② 見川
③ 広報
④ 1年目



① 前 田 建
② 千波
③ 調査
④ 1年目



① 綿 引 静 夫
② 千波
③ 庶務部長
④ 29年目



① 高 久 たかみ
② 千波
③ 企画部長
④ 25年目



① 岩 間 秀 男
② 梅が丘
③ 副委員長
④ 29年目



① 緑 川 昭 彦
② 梅が丘
③ 調査
④ 17年目



① 折 本 教 江
② 梅が丘
③ 庶務
④ 3年目



① 大 庭 憲 夫
② 笠原
③ 広報
④ 34年目



① 鈴 木 直 樹
② 笠原
③ 庶務
④ 13年目



① 長谷川 幸 一
② 笠原
③ 企画
④ 1年目

北部ブロック



① 江 幡 博
② 柳河
③ 企画
④ 6年目



① 宮 永 裕 子
② 柳河
③ 調査
④ 15年目



① 飛 田 信 義
② 柳河
③ 庶務
④ 11年目



① 菊 池 操 子
② 渡里
③ 広報部長
④ 23年目



① 関 根 一 夫
② 渡里
③ 企画
④ 19年目



① 大 槻 勢 次
② 渡里(ブロック長)
③ 調査
④ 13年目



① 綿 引 一 夫
② 飯富
③ 調査
④ 3年目



① 宮 田 正 子
② 飯富
③ 広報副部長
④ 11年目



① 鬼 澤 智 宏
② 飯富
③ 庶務
④ 3年目



① 小 野 広
② 国田
③ 広報
④ 3年目



① 宮 田 満 男
② 国田
③ 調査
④ 5年目



① 和 田 俊 宏
② 国田
③ 庶務
④ 7年目

常澄ブロック



① 鴨 川 正 則
② 下大野
③ 企画
④ 23年目



① 後 関 正 広
② 下大野(ブロック長)
③ 広報
④ 17年目



① 飛 田 博 志
② 下大野
③ 調査
④ 11年目



① 濱内里依子
② 稲荷第一
③ 調査
④ 31年目



① 出澤光治
② 稲荷第一
③ 企画
④ 5年目



① 清水豊一
② 稲荷第一
③ 広報
④ 19年目



① 高野駿
② 稲荷第二
③ 企画
④ 1年目



① 塚本泰行
② 稲荷第二
③ 調査
④ 15年目



① 二井博之
② 稲荷第二
③ 庶務
④ 1年目



① 新井和彦
② 大場
③ 庶務副部長
④ 23年目



① 七川雅樹
② 大場
③ 調査
④ 7年目



① 飛田厚志
② 大場
③ 広報
④ 17年目

内原ブロック



① 鉄本信江
② 内原
③ 庶務
④ 3年目



① 柏一雄
② 内原
③ 企画
④ 6年目



① 高丸千枝
② 内原
③ 調査
④ 3年目



① 川又要
② 鯉淵
③ 庶務副部長
④ 55年目



① 坪谷幸広
② 鯉淵
③ 調査
④ 3年目



① 篠原貴
② 鯉淵
③ 広報
④ 3年目



① 上山修
② 妻里
③ 調査
④ 1年目



① 浅野健
② 妻里(ブロック長)
③ 広報
④ 21年目



① 大園文裕
② 妻里
③ 企画副部長
④ 21年目

新課長あいさつ

このたびの人事異動により、スポーツ課長を拝命いたしました山田と申します。
水戸市スポーツ推進委員連絡協議会の皆様には、市民スポーツの推進のために御尽力いただき、心から感謝申し上げます。
さて、スポーツを取り巻く社会環境は、少子高齢化の進行やライフスタイルの多様化、さらには部活動の地域展開など、大きく変化しております。このような中、地域スポーツを支える中心的存在であるスポーツ推進委員の役割は、市民の健康の維持増進のみならず、地域の絆をはぐくみ、地域で支え合う社会を構築する上でも重要となっております。
当課といたしましては、水戸市スポーツ推進委員連絡協議会の皆様のお力添えをいただきながら、誰もがスポーツに親しみ、健康な体と心で豊かな生活を送ることができるように取組を推進してまいりたいと考えておりますので、今後とも、一層の御理解と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

スポーツ課職員紹介

課長 山田 規生 【水戸黄門漫遊マラソン推進係】
課長補佐 大高 暁 係長 山崎 智史
【市民スポーツ係】 主事 八百井 麻莉
係長 大内 寿施 石澤 凜人
主幹 野澤 昌永
主事 尾見 奨研
須貝 太智



後列：(左から) 野澤、山崎、石澤、大内、大高、八百井
前列：(左から) 須貝、山田、尾見

令和8年度関東スポーツ推進委員研究大会(栃木大会)に参加して



水戸市スポーツ推進委員
企画部会 笹 沼 重 晴

6月5日(金)、6日(土)に1655名の委員の参加の下、宇都宮市の総合文化センターで「心ひとつに栃木で広がる絆とスポーツの力」をテーマに開催されました。

来賓の祝辞の中で心に残ったことが2点あります。

1つ目は、餃子の街らしく「5ヶ所のお店をハシゴしてみてください！必ず好みの餃子が2店以上みつかる」ということです。

2つ目は、生涯スポーツの推進と振興のために推進委員さんに必要な事は、「知る」「見る」「支える」の3つだということです。

大会では、長い間活躍された84名の推進委員の表彰がありました。

基調講演では、平野早矢香さん(鹿沼市生まれ、元卓球選手、2012年ロンドンオリンピック金メダリスト)を講師に迎え、「昨日の自分より一步前へ」をテーマに話がありました。特に、「高い目標を持つことも大事だが、目の前の目標を達成する。そのために努力する、継続することが大切！」ということが印象に残りました。

2日目は、3つの分科会に分かれて、他県の委員との交流がありました。水戸市からは13名の参加でしたが、充実した2日間でした。

※ 文化センター付近で「ネズミ」は見ましたが、「くま」に遭遇しなかったのが幸いでした。



～ シリーズ わたしとスポーツ vol.5 ～

空手との出会い



水戸市スポーツ推進委員
広報部会 長谷川 雄 也

私は幼少のころから球技が苦手で、今でもボールに触れる事はほとんどありません。小学生の時、子ども会のソフトボールに参加するのが嫌だった私は、親からの勧めで剣道をはじめ、中学では剣道部に入りました。

進学した高校には剣道部が無かったため部活をどうしようか悩んでいたところ、数学の先生が空手道部の顧問で、一度空手を見てみないかと誘われて見学に行きました。これが空手との出会いでした。空手経験のない私は、初めて見る空手の練習風景に圧倒されたことをつい昨日のこのように覚えています。当時の茨城県は全国大会で優勝校を輩出するなど全国トップレベルの県で、当校はその茨城県の中で常にトップ3に入る強豪校でした。その時は自分には無理と入部をお断りしたのですが、身長が高く武道経験があるのは有利だから大丈夫と言われ、押し切られる形で入部しました。しかし、予想通り練習は厳しく、それ以上に何度教えてもらっても上手く出来ないことが多かった私は、何でこんな部活に入ってしまったのかと後悔し、何度も辞めたいと思っていました。しかし、厳しい練習にも慣れ、教えていただいたことが徐々に出来るようになり、大会で少し勝てるようになってきた頃には辞めたいと思うことは無くなっており、逆に最後の試合が近づくにつれてもっと練習時間が欲しいとまで思うようになっていました。思い返してみると休みは年に数日しか無く、土日はほぼ遠征という空手に明け暮れた高校生活でしたが、非常に充実した時を過ごせたことに今では感謝しかありません。無事3年間部活をやり遂げもう空手をやることはないだろうと思いましたが、卒業後も先生から母校の外部指導員の話を受けたり、先生が師範を務めている道場の指導員の話を受けるなど、指導者として関わらせていただきました。令和6年に30年以上師事した先生がお亡くなりになられ、その時から先生の道場を継ぎ、今師範として子どもたちと共に練習に励み汗を流しています。

今後とも指導者として子供たちが空手というスポーツを通して何かを学び、そこに費やした時間がかけがえないものとなるよう、先生から頂いたご指導を忘れることなく指導に邁進していきたいと思います。

